



市民の声に耳を傾け、市民が安心して暮らせる秦野を



公明党 中村 英仁

を促すなど、有効に活用できるよう取り組んでいく。

一 医療費削減の取組について

問 医療費削減の一つとして糖尿病を予防することが考えられる。3年以内に発症する確率を表示できる糖尿病リスク予測ツールを活用して、本市でも糖尿病の予防事業を行ってほしいと考えるが、どうか。

答 糖尿病リスク予測ツールの内容をよく確認して、ホームページなどへのリンクの掲載や、特定健康診査の結果を通知する際に利用

二 公園の有効活用について

問 今後の公園運営は市民ニーズに添えていくことが重要と考える。以前質問した※インクルーシブ遊具のほか、今回市民から相談があった、ドッグランや幼児用遊具の設置に対する考えはどうか。

答 要望のあったドッグランや幼児用遊具、インクルーシブ遊具については、地区的なバランスを見ながら、地域関係者の要望を確認し、検討していく。

三 ヤングケアラーの支援について(その4)

問 令和4年に、中学3年生を対象として行われた実態調査の結果はどうか。また、調査を踏まえて今後、どのように取り組んでいくのか。

答 自分がヤングケアラーに当てはまると回答した生徒は2・3%だった。今後は関係機関と連携し、早期発見につなげていきたい。



幼児用遊具が設置されている
じょうや児童遊園地

秦野の文化資源を活用しにぎわいの創出を



一 防災・減災対策について

問 ①近年激甚化する豪雨災害に対する避難体制の強化や危機意識の醸成は、②年々増加する熱中症による死者は8割以上が高齢者であり、エアコントラブルで命に危険が及ぶこともある。高齢者の熱中症予防には介護や福祉関係者との連携が必要と考えるが、どうか。

答 ①土砂災害や浸水被害の警戒区域の確認と併せ、※マイタイムラインの作成と正しい情報の入手方法の研修を行い、確実な避難行動につなげる。また、危険水位の周知方法については高さを考慮して検討する。②熱中症予防には適

二 地域医療の充実について

問 きめ細かな地域医療の充実のため、かかりつけ医の普及に向けて本市の推進状況はどうか。

答 コロナ禍でかかりつけ医の必要性が認識された。限られた医療資源の中で制度化の必要性を医師会などの意見を聞いて検討する。

三 にぎわい創出について

問 ①前田夕暮生誕地入口の標柱の改善は、②鶴巻あじさい遊歩道中継地の排水機場整備は、どうか。

答 ①生誕140周年記念事業の

陳情・意見書

地域や経営の実態を踏まえたきめ細かな最低賃金額の審議を

令5陳情第3号 神奈川県の最低賃金額審議に関する陳情

▼願意

最低賃金の決定に当たり、客観的なデータを基に公労使により納得ある議論を尽くし、県内同一額の最低賃金制度は、地域や経営の実態を踏まえた制度として早期に再構築することについて、国と県に意見書を提出してほしい。

▼付託委員会

環境都市常任委員会

▼委員会での主な意見

意見 国において、最低賃金の都道府県間の格差縮小や、賃上げの動きがある中、本陳情を採択する

教育を取り巻く環境の充実を図るため教職員定数の改善と教育予算の増額を

令5陳情第5号 子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

▼願意

小学校35人学級の段階的移行や中学校における少人数学級の実現、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出してほしい。

▼付託委員会

文教福祉常任委員会

▼委員会での審査状況

委員会としては「教職員の負担軽減と子ども向き合う時間を確保するためには、スクール・サポート・スタッフを常勤化することが必要であり、その実現に当たっては、義務教育費における国庫負担割合を拡充することが、子どもたちの豊かな学びを保障することにつながる。こども家庭庁が創設された好機を逃すことなく、採択し、国へ意見書を提出すべきである。」との意見の一致を見た。

中小企業や小規模事業者はコストを十分に価格転嫁できず、経営が厳しくなる可能性があるため、採択し意見書を提出すべきである。

▼採決の結果

委員会 採 択 (賛成多数)

本会議 採 択 (賛成多数)

議提案第1号 神奈川県の最低賃金額審議に関する意見書の提出について

▼要 旨

最低賃金の決定に当たり、客観的なデータを基に、特にコストの増加分を十分に価格転嫁し得ない中小企業などの支払能力について、公労使により納得ある議論を尽くし、最低賃金制度は地域や経営の実態を踏まえたきめ細かな制度として早期に再構築するよう、国と県に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議 採 択 (賛成多数)

▼本会議での賛成討論

教員補助員を増やし、公平な教育を行うことが大切であると考え、採択すべきである。

▼採決の結果

委員会 採 択 (賛成全員)

本会議 採 択 (賛成全員)

▼委員会提出議案第1号 教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について

▼要 旨

小学校の段階的な35人学級への移行を踏まえ、全ての子どもたちの教育的ニーズに応じたきめ細かな支援体制と、安全・安心な教育環境の充実を図るため、中学校の少人数学級の早期実現、スクール・サポート・スタッフの常勤化など教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元することなどについて、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議 採 択 (賛成全員)

議員定数に関する陳情審査は議会運営委員会から中間報告

令和5年5月に提出された議員定数の削減と堅持に関する陳情2件は、6月8日の議会運営委員会において一括して審査され、定例会議の期間後も引き続き審査を行うこととなりました。その審査の経過を6月23日の本会議で中間報告しました。

令5陳情第4号 市議会議員定数の削減の陳情

▼願意

議員定数を24人から22人とし、最終的には20人にすること。

令5陳情第7号 秦野市議会議員定数現行24人の堅持を求める陳情書

▼願意

議員定数について、現行24人を堅持すること。

▼付託委員会

議会運営委員会

▼委員会での審査状況

委員会としては「市民サービスの向上につながるには、議会改革や円滑な議会運営に資する議員定数について、さらに議論を重ねる必要があるため、令5陳情第4号と令5陳情第7号は、定例会議の期間を終えても審査を継続すべきである。」との意見の一致を見た。



前田夕暮生誕140周年記念
ギャラリートークの様子

前田夕暮生誕140周年記念ギャラリートークの様子

前田夕暮生誕140周年記念ギャラリートークの様子

開催しました 夏休み子ども議場見学会



令和5年7月23日(日)に7回目となる夏休み子ども議場見学会を開催し、小学3年生から6年生の児童と保護者12組26人に参加いただきました。当日は、正・副議長との名刺交換、議員体験、施設見学、正・副議長への質問などが行われました。今後も市議会を身近に感じていただけるよう取り組みを進めていきます。

用語解説 ※インクルーシブ遊具…障害の有無に関わらず、あらゆる子どもが安全に遊べる遊具。 ※マイタイムライン…台風などの接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理して、自ら考え命を守る避難行動の一助となるもの。 ※審査未了…委員会に付託された案件が審査期間中に採決に至らず、審査の継続も行わないもの。